

LECTURE

講演会報告



- AS MAP 特別講演会
「世界の中の日本の伝統芸能 狂言」
- 狂言師 野村萬齋氏
- 1/14 長久手キャンパス

狂言師野村萬齋氏は、国内外での狂言の公演だけでなく、演劇、映画、テレビなどに幅広く出演され、また世田谷パブリックシアターの芸術監督としても活躍されています。

講演会では、『間違いの狂言』



(高橋康也作、野村萬齋演出)の映像を鑑賞した後、国内外の公演のエピソード、留学時代の経験、海外と日本での狂言に対する反応の違い、国際社会における狂言の今後の展望と可能性についてお話しして下さいました。

イギリス留学によって、アイ

デンテイイや伝統を尊重することの重要性を感じ、狂言を再認識するきっかけになったという野村萬齋氏の熱い語りにより、会場いっぱいの聴衆は魅了されました。

今後の狂言の可能性については、「古典の狂言だけを演じるのではなく、新しい創造性を生かすことが大切。守るべきことと、変えてもよいことの両方を意識することが重要である」と述べられました。

現代に生きる狂言師として、いろいろなことに挑戦しようとする野村萬齋さんの意欲的な姿勢に、学生たちは大いに感銘と刺激を受けると同時に、日本の伝統芸能を継承することの難しさや国際的な広い視野からの日本の伝統芸能を知る良い機会になりました。

- 文学部教育学科企画・運営
第8回文学部講演会
「すてきな教師になるために」
- 元愛知淑徳大学教授
加藤文子氏
- 3/25 長久手キャンパス

3年前まで、本学教職課程できめ細かいご指導をいただき、多くの卒業生を教師の道へと導かれた加藤文子先生に講演をお願いました。教育学科では開設3年目を迎え、初めての1か月の小学校での教育実習を控える時期に、「すてきな教師になるために」と題して、



具体的な心構えや助言をいただきたいと考えての企画でした。

先生は長年の障がい児教育に捧げてこられた教師時代についての楽しい思い出とともに、子どもは教師が前向きに1対1で接したとき、初めて心を開き、期待した行いをしてくれ

るものであることを学生たちに語りかけてくださいました。教育実習に向けては、豊富なご指導経験と実習生たちへの調査結果から、教育実習への基本姿勢、生徒指導、退勤時間、実習前の不安事項、実習中に困ったこと、実習校からの注意事項などについて、詳細にお話しくださいました。楽しいことばかりでなく辛いこともあるが、そこを乗り越えたいときに人は成長するとの励ましをいただきました。

学生たちからは、「先生の言われた『ゆつくり、はつきり、大きな声で』の3原則を心にしまつて実習に臨みたい」「不安を和らげるお話が聞けたので、明るく頑張りたい」などの決意表明を聞くことができた貴重な講演会でした。